

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	鹿児島大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	カゴシマダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	九州地方
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	工学部
	担当教職員名・役職	理工学研究科等研究科・工学系学務課学生係
受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	23	
受入企業等数	14	
受入企業等名	鹿児島日産自動車株式会社、株式会社パーツ精工鹿児島工場、株式会社ARS、九州電力株式会社、株式会社東芝、鹿児島市役所、東急建設株式会社、大成建設株式会社、UID一級建築士事務所、株式会社SUEP、株式会社NAP建築設計事務所、株式会社傳設計、香川県庁、鹿児島土木設計株式会社	
インターンシップの分類	5.他県をまたぐ広域インターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受け入れ企業において仕事に従事する。就業内容は、受け入れ企業によって異なる。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	1年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップは専門教育の選択科目である。実施期間は受け入れ企業により異なるが、主に夏期休業期間中に実施している。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	モニタリングは実施していない。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	学生係にて4月に説明会を実施し、全学科の学生に社会人としてのマナーや守秘義務の遵守などについて説明をしている。学科においても同様の指導をしている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	就業報告書などを見ながら勤務内容について質疑している。就職活動に対する意識について確認している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	

要素④	4-1. インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1. はい
	4-2. 該当する教育的効果を測定する仕組み	1. アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2. 以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生に日報形式のレポートを課し、インターンシップの成果について確認している。
要素⑤	5-1. 一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1. はい
	5-2. 該当する実施期間	1. 連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2. で「1. 連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	5日間～2週間
	5-2. で「2. 事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2. で「3. 複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2. 以外の実施期間の内容(記述欄)	
5-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	単位認定に必要な実習期間は5日間から2週間であり、学科により異なる。	
要素⑥	6-1. 大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1. はい
	6-2. 該当する大学等と企業の協働取組の内容	4. 受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2. 以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生の研修報告書を企業の担当者に作成いただき、単位認定の際の参考資料としている。また、学生が作成したレポートを企業の担当者に確認いただいている。
	7. 上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	別途提出済み
問い合わせ先	大学等名	鹿児島大学
	担当部署名	理工学研究科等研究科・工学系学務課学生係
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	099-285-3264
	メールアドレス	egakusei@kuas.kagoshima-u.ac.jp